

第 42 回光学シンポジウム「実用的な最先端の光学設計/光計測/光学素子/光学システム, 光学における機械学習の活用」講演募集

光学シンポジウムは、光学設計者・技術者の皆様が日頃の研究、開発の成果を発表し、討論する場として、毎年開催されています。次回も下記の要領で第 42 回光学シンポジウムを開催いたします。多数の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

期 日：2017 年 6 月 22 日(木), 23 日(金)

場 所：東京大学生産技術研究所 An 棟コンベンションホール (東京都目黒区駒場 4-6-1)

主 催：日本光学会

共 催：応用物理学会フォトニクス分科会

応募講演の性格および内容：

a) 原則として未発表のものとし、ただし、既発表のものの一部重複があっても、光学に関わる新規な内容が含まれていれば発表可能です。

b) 内容は、光学システムおよび光学素子の設計、製作、評価に関連した講演を中心として、日本光学会の活動の全分野を対象とします。特に、これに関連した実的な問題に踏み込んだ講演を歓迎し、また問題提起の講演も認めます。

応募資格：日本光学会 (入会予定含む)、応用物理学会、SPIE、OSA、OSK、および協賛の学協会会員

応募方法：ホームページ (http://myosj.or.jp/event2/opt_symp) の講演応募方法をご参照の上、電子メールにてご応募ください。

応募先：光学シンポジウム実行委員会講演担当

E-mail optsymp42-spj@myosj.or.jp

応募締切：2017 年 3 月 3 日(金) 必着

予稿提出：採用した講演については、所定フォーマットの PDF 形式の電子ファイルを提出していただきます。詳細は、後日案内予定の予稿原稿の書き方、ホームページをご参照ください。

予稿締切：2017 年 4 月 14 日(金) 必着

問い合わせ先：キヤノン(株) イメージコミュニケーション事業本部光学技術 33 開発室 菊地 正

E-mail optsymp42-aud@myosj.or.jp

光設計研究グループ第 61 回研究会「光センシングの最近の話題から」

光センシング技術は、私たちの日々の生活を陰に陽に支えています。車載センサー、生体センサー、環境計測、構造ヘルスマニタリング、個人認証など、その活用は多岐にわたり、安全、安心な社会を実現するために不可欠となっています。本研究会では「光センシング」を共通項として、多方面から最近の話題を集め、それぞれの分野でご活躍の先生方に最新の研究開発についてご講演いただきます。研究会後にはご講演の先生方を交えた懇親会も予定しておりますので、この機会にぜひご参加いただき、交流を深めていただければ幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

日 時：2017 年 3 月 10 日(金) 10:20~17:25

場 所：ハイライブラザいたばし (〒173-0004 東京都板橋区板橋 1-55-16) http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/045/045352.html

主 催：日本光学会光設計研究グループ

協 賛：応用物理学会、ほか

プログラムおよび開催場所は光設計研究グループのホームページにてご確認ください。(以下に、確定している内容をご紹介します。)

プログラム：1.「画像計測による構造物の内部劣化状態検出」今井浩 (NEC), 2.「3D ビジョンによるドローンのアプリケーション」山下哲生 (リコー), 3.「ハイパースペクトルカメラを用いた光センシング技術」安藤詩織 (エバ・ジャパン), 4.「表面プラズモン共鳴測定とそれを用いたバイオセンシング」岩崎弦 (NTT), 5.「個人認証のための歩容解析」八木康史 (大阪大学), 6.「単眼カメラによるカラー開口撮像技術」三島直 (東芝), 7.「カメラによるドライバー運転集中度センシング技術」川出雅人 (オムロン), 8.「Optical Sensing Technologies (仮題)」Sylvie Joly (CEA-Leti)

参加費：光設計研究グループ個人会員 4,000 円、光設計研究グループ学生会員 無料、協賛会員 8,000 円、共催団体学生会員 1,000 円、一般 10,000 円、学生一般 2,000 円、懇親会費無料。

定 員：100 名

参加申込方法：氏名 (フリガナ)、所属、住所、電話、E-mail、会員区分、懇親会参加の有無を明記の上、E-

mailまたは郵送にて下記申込先にお送りください。参加費は当日、会場にてお支払いください。

申込先：(株)リコー画像エンジン開発本部 ICT 開発センター 窪田高士
〒243-0460 神奈川県海老名市下今泉 810
電話 050-3814-8997 E-mail k61reg@opticsdesign.gr.jp
問合せ先：(株)東芝生産技術センター光技術研究部 山本雄一郎
〒235-0017 横浜市磯子区新磯子町 33
電話 050-3175-6227 E-mail k61@opticsdesign.gr.jp
URL <http://www.opticsdesign.gr.jp/>

活発に検討されています。今回はこれらに関する最先端の技術を紹介するとともに、将来のさらなる発展に向けベクトルビーム、光渦などの活用も視野にいれ、複雑な電界分布を有する光伝搬の基礎から通信以外の応用まで幅広く専門家に解説していただきます。

日時：2017年3月2日(木) 10:00~17:00
場所：上智大学四ツ谷キャンパス 12号館 102号室(北門そば)(〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1) JR中央線/東京メトロ丸ノ内線/南北線四ツ谷駅麹町口・赤坂口から徒歩1分
主催：応用物理学会微小光学研究会、上智大学理工学部情報理工学科
問合せ先：上智大学理工学部情報理工学科 高橋 浩
E-mail hiroshi.takahashi@sophia.ac.jp
URL <http://www.comemoc.com/>

第143回微小光学研究会「最新の光伝送・伝搬・制御技術—光の特質利用はどこまで？」

最新の光ファイバー通信においては、モード多重やマルチコアファイバーを用いた空間分割多重による大容量化が

日本光学会 *news* の掲載申込先：
〒192-8512 東京都八王子市久保山町2-3 オリパス(株) 技術開発部門光学システム開発本部 天内隆裕 電話 042-691-7194 Fax 042-691-7573 E-mail t_amanai@ot.olympus.co.jp
なお、掲載申込は原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。
掲載にあたっては、「日本光学会 *news*」の掲載基準を日本光学会ホームページでご確認ください。

「応用物理」第86巻第2号(2017年2月号) 予定目次

解説

ポンプ・プローブ顕微鏡法—多色多モード超解像 ……小林孝嘉

最近の展望

ポリマー半導体を用いた高効率有機薄膜太陽電池 ……尾坂 格

研究紹介

HVPE法による高品質酸化ガリウムエピタキシャル成長技術

……………熊谷義直, 村上 尚, 倉又朗人, 東脇正高

Niメッキによる高生産性パワーデバイス接合技術

……………巽 宏平, 飯塚智徳

セルロースのナノ構造特性に着目したマテリアル機能の創発

……………北岡卓也

論理回路応用のための有機トランジスタ……………北村雅季

人工嗅覚実現に向けた総合的研究開発

……………今村 岳, 柴 弘太, 吉川元起

プリントドバイオセンサの開発と応用

……………南 豪, 南木 創, 時任静士

基礎講座

スピントロニクス実験のコツ……………近藤浩太, 大谷義近

ホッとひといき

セルロースナノファイバー—木材屋さんのナノマテリアル

……………齋藤継之

Inside Out

神話と真実—インドから日本への私の旅

……………パンディ シヤム

Science As Art

Alq₃の宝石箱……………堀家匠平